Panasonic®

取付設置説明書
同時給排幕板

品番

E33AHDM607B	600幅
S33AHDM607B	600幅
E33AHDM757B	750幅
S33AHDM757B	750幅
W33AHDM757B	750幅
E33AHDM907B	900幅
S33AHDM907B	900幅
W33AHDM907B	900幅

●この取付設置説明書をよくお読みのうえ、正しく取付設置してください。
特に「安全上のご注意」（2～3ページ）は、取付設置前に必ずお読みいただき、安全に取付設置をおこなってください。
取り付け不備などによる事故や損傷につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
●取付設置後に、必ず動作確認をおこなってください。
●取扱説明書は必ずお客様にお渡しし、使い方を説明してください。
●梱包材や残材は、「廃棄物処理法」に従って適切に処理してください。

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

■分解・改造は絶対にしない

分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。

■交流100ボルトで使用する

必ず守る

火災・感電の原因となります。

■取付設置の際は、レンジフードの電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切る

必ず守る

感電やけがをすることがあります。

■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実におこなう

必ず守る

誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

■排気工事をおこなう場合、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従がって、取付設置する

必ず守る

火災など重大な事故の原因となります。

■レンジフード本体とダクトは可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う

必ず守る

火災など重大な事故の原因となります。
詳しくは所轄の消防署（庁）に問い合わせてください。

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける

必ず守る

漏電した場合、火災の原因となります。

⚠注意

■部品は確実に取り付ける

必ず守る

落下により、けがをするおそれがあります。

■取り付け工事の際は、厚手の手袋を使用する

必ず守る

板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

■本体は指定の方法で確実に取り付ける

必ず守る

落下により、けがをするおそれがあります。

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する

必ず守る

落下により、けがをするおそれがあります。

■浴室など、湿気の多いところに取り付けない

水場使用禁止

感電の原因となります。

お願い

■全体換気の必要なところは、他の換気扇との併用をおすすめします。

■次のような配管工事はしないでください。

（吐出口のすぐそばで曲げると、シャッターが開かなくなり正しく排気されません。）

(1) 極端な曲げ

(2) 吐出口のすぐそばでの曲げ

(3) 多数回の曲げ

(4) 接続ダクト径を小さくする。

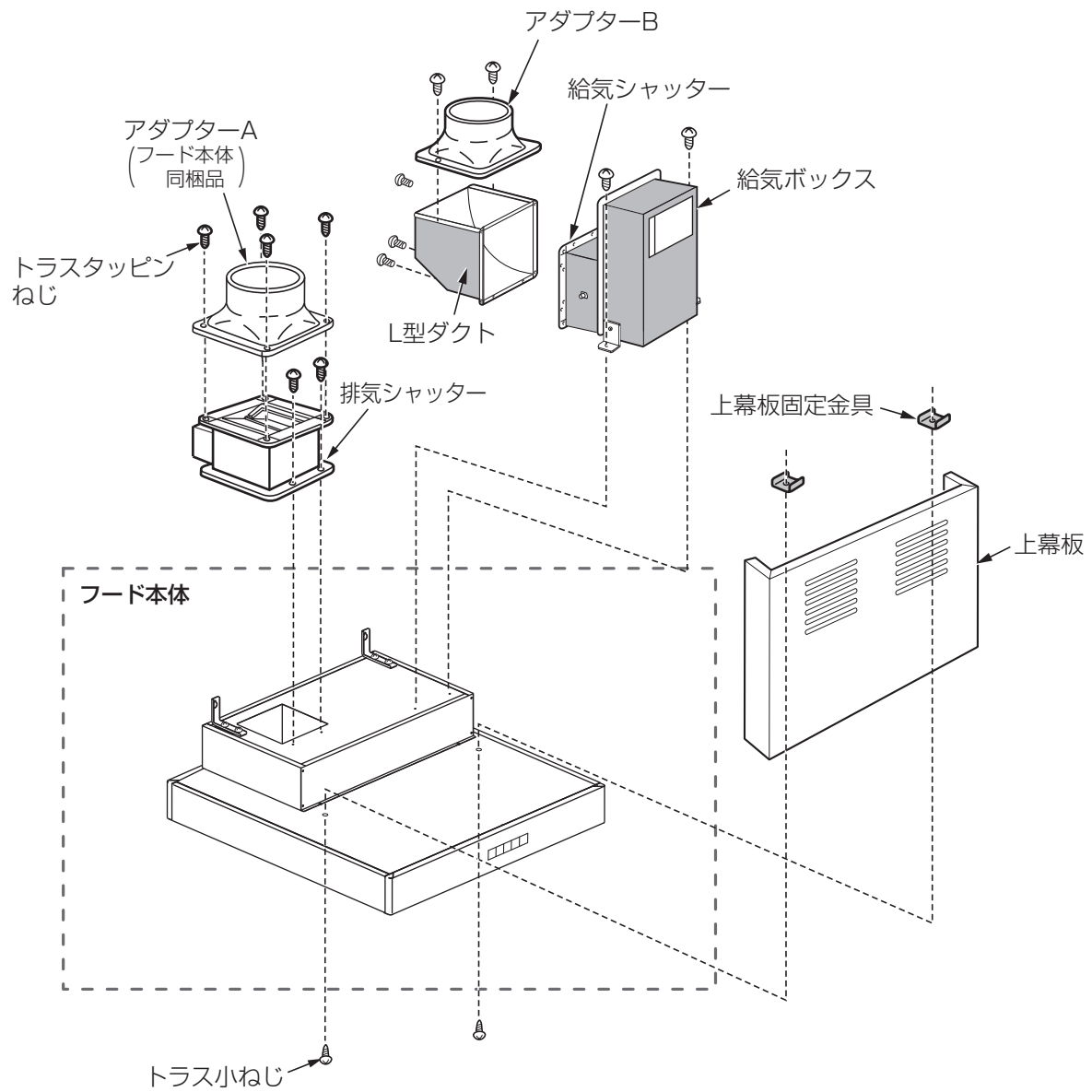
各部の名前

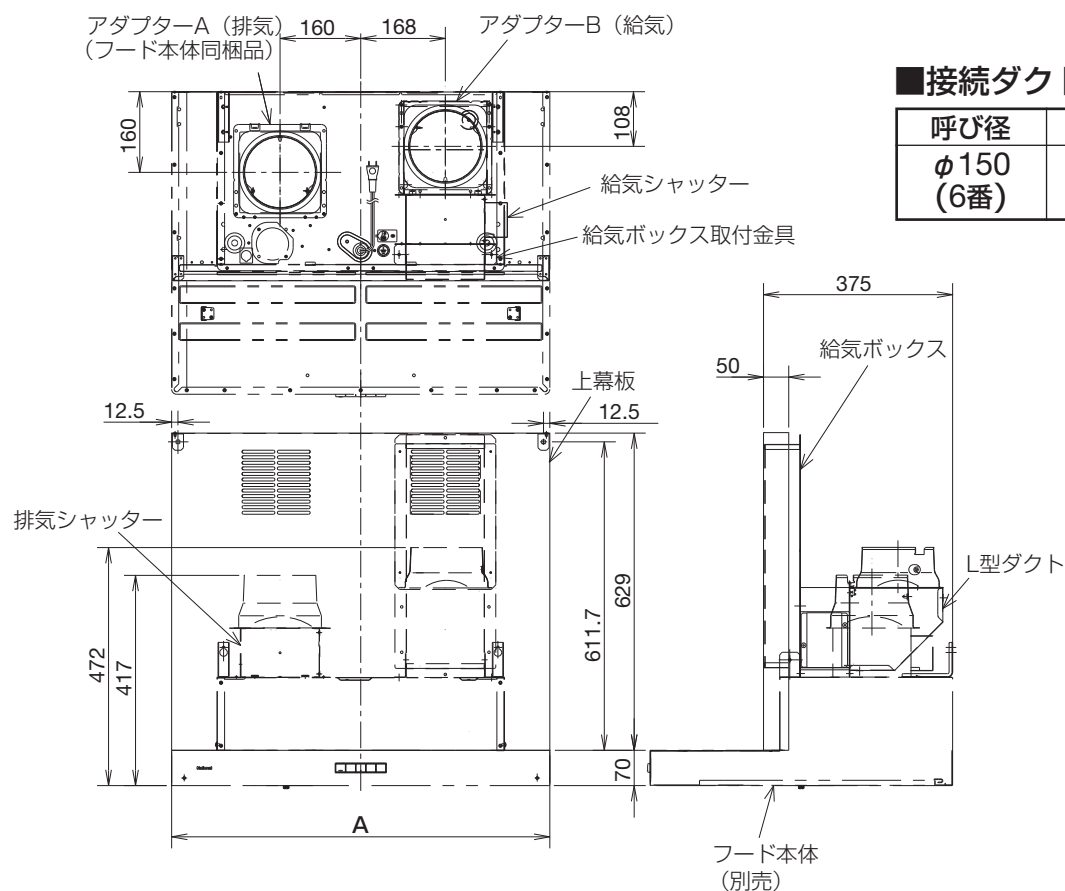
アダプターB
給気シャッター
アダプターA
(フード本体同梱品)
給気ボックス
トラスタッピンねじ
L型ダクト
排気シャッター
上幕板固定金具
上幕板
フード本体
トラス小ねじ

外形寸法図

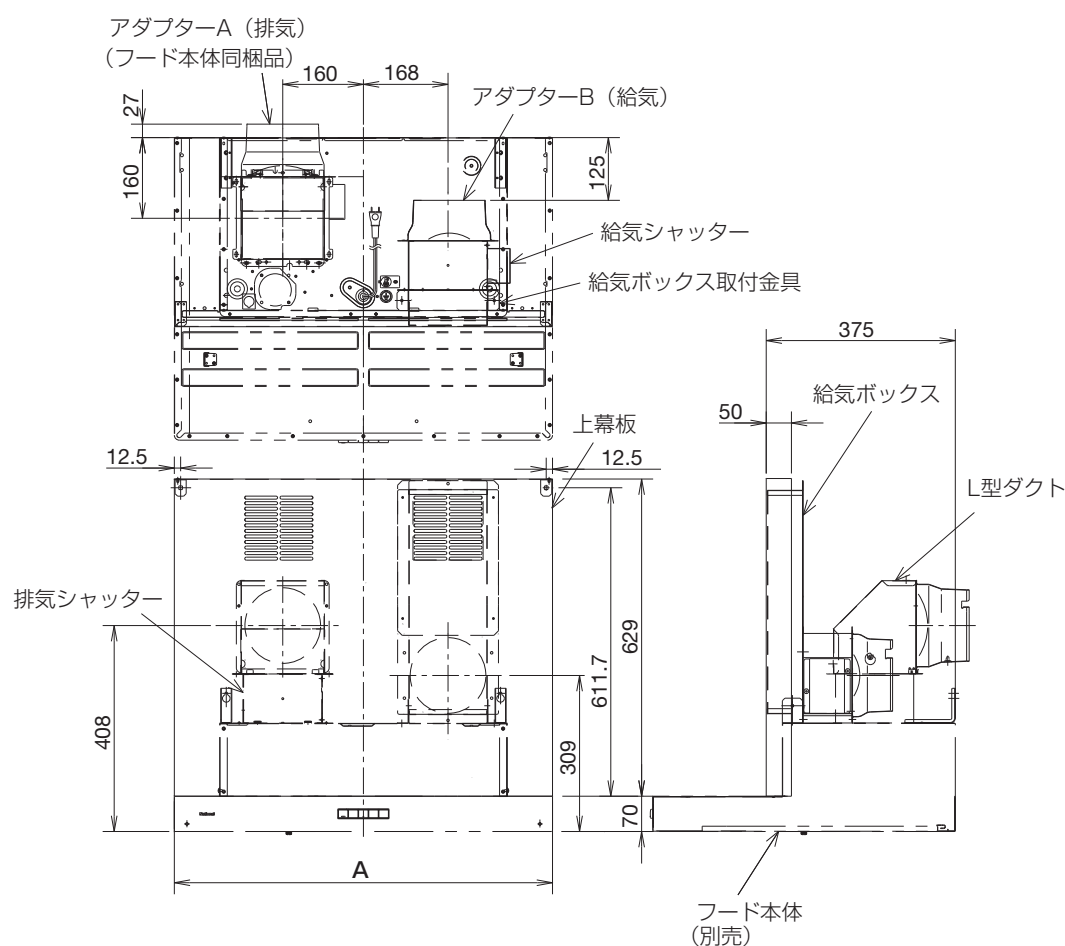
＜上方排気・給気の場合＞

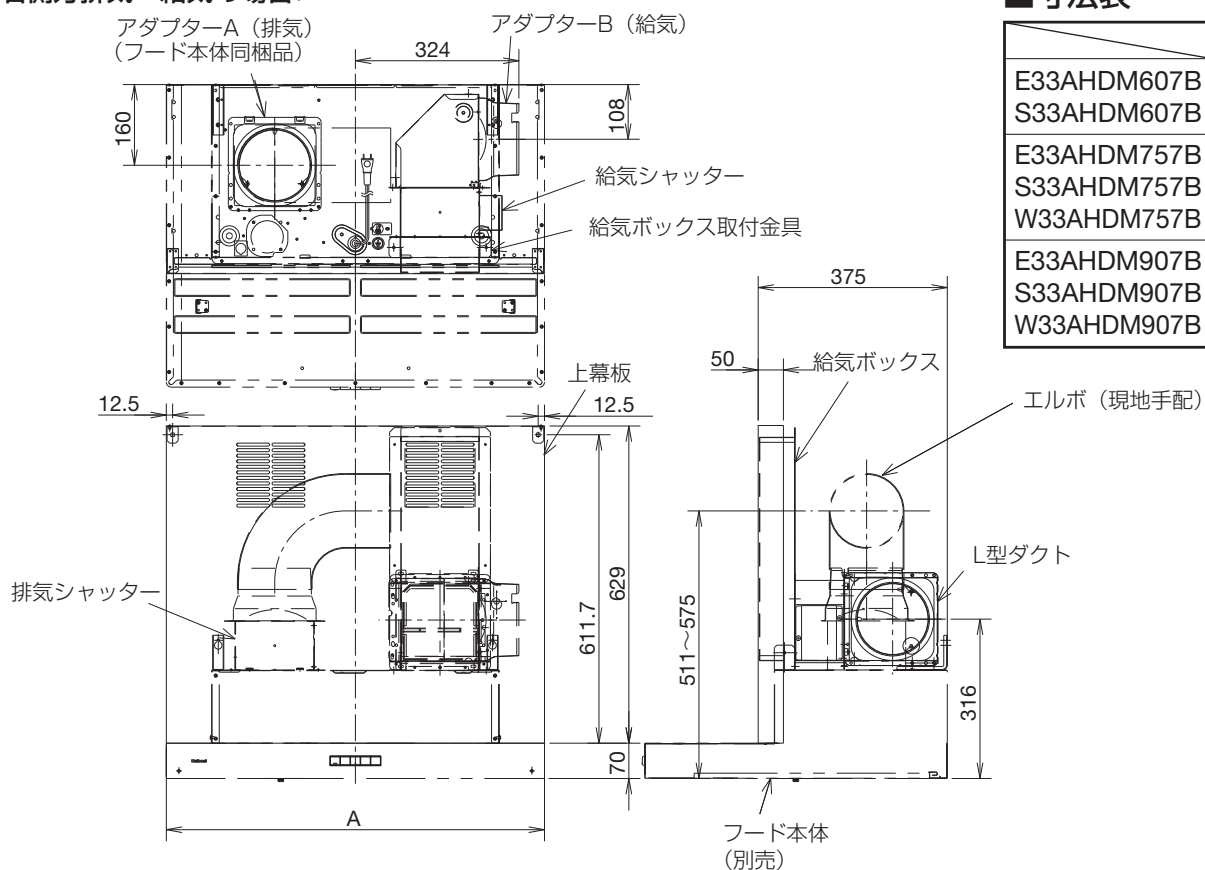
〔単位：mm〕

アダプターA（排気）
（フード本体同梱品）
160
168
アダプターB（給気）
160
108
給気シャッター
給気ボックス取付金具
375
50
給気ボックス
上幕板
12.5
12.5
排気シャッター
L型ダクト
472
417
611.7
629
70
A
フード本体
（別売）

■接続ダクト（市販品）

呼び径	種　　類
φ150 (6番)	鋼板スパイラルダクト

■寸法表

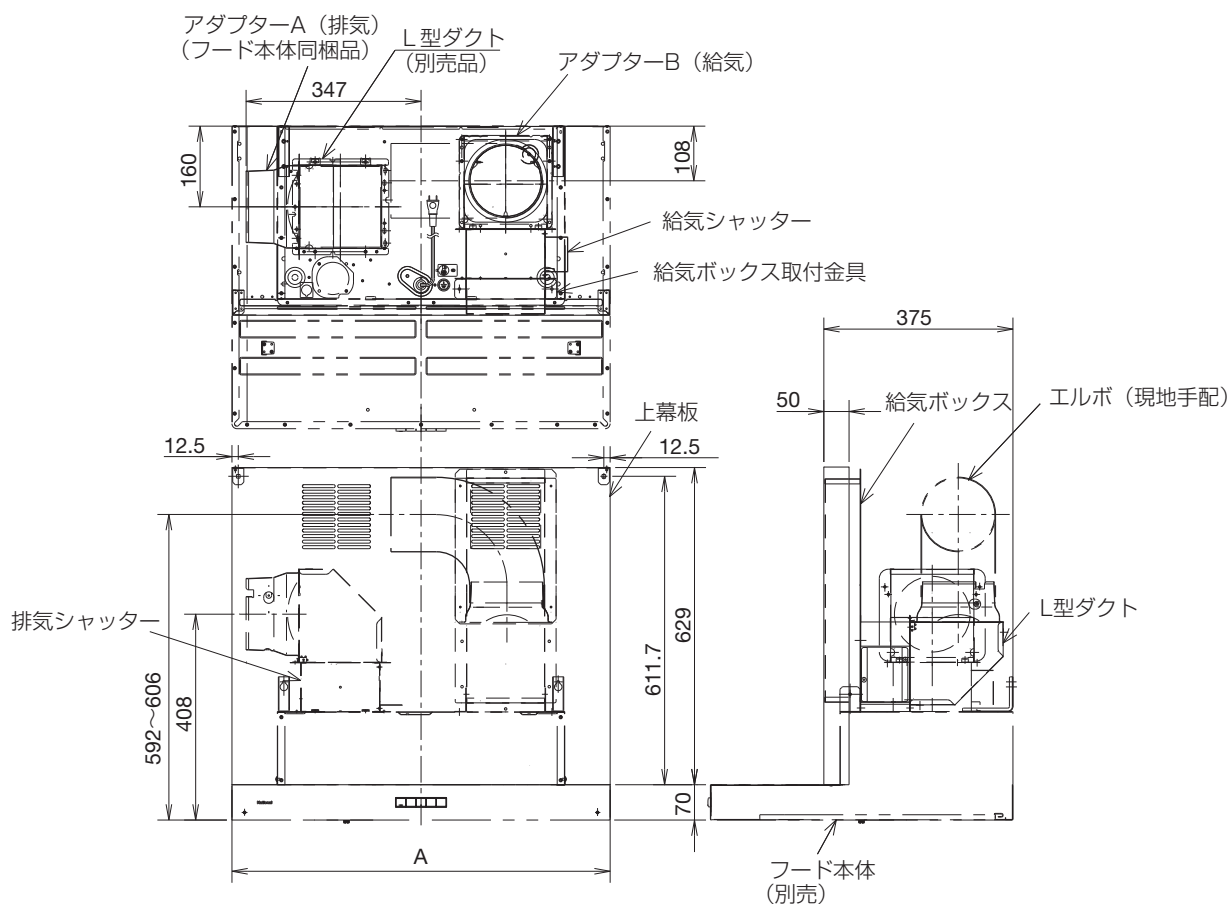
	A
E33AHDM607B S33AHDM607B	600
E33AHDM757B S33AHDM757B W33AHDM757B	750
E33AHDM907B S33AHDM907B W33AHDM907B	900

＜後方排気・給気の場合＞

外形寸法図（続き）

＜右側方排気・給気の場合＞

アダプターA（排気）
（フード本体同梱品）
アダプターB（給気）
324
160
108
給気シャッター
給気ボックス取付金具
375
50
給気ボックス
上幕板
エルボ（現地手配）
12.5
12.5
L型ダクト
排気シャッター
629
611.7
511～575
316
70
A
フード本体
（別売）

■寸法表

	A
E33AHDM607B S33AHDM607B	600
E33AHDM757B S33AHDM757B W33AHDM757B	750
E33AHDM907B S33AHDM907B W33AHDM907B	900

＜左側方排気・給気の場合＞

付属品・別売品

お願い　この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

付属品

●**パッキングテープ**（ダクト接続用）…… **1個**

●**調整用パッキングテープ（黒色）**… **1個**

●**トラスタッピンねじ（φ4×8）**… **13個**

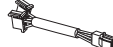
	上方	後方	右側方	左側方
アダプターA固定用	4	2	4	2
L型ダクト(排気側)固定用	―	4	―	3
アダプターB固定用	2	4	2	2
L型ダクト(給気側)固定用	3	―	3	3
給気ボックス固定用	2	2	2	2
コードクリップ固定用	1	1	1	1

●**トラスタッピンねじ（φ4×14）**… **2個**

●**コードブッシング**…………………… **1個**

●**コードクリップ**……………………… **1個**

●**補助金具**…………………………… **2個**

●**トラス小ねじ**…………………………
（S33AHDM757B、E33AHDM757B、W33AHDM757B
S33AHDM907B、E33AHDM907B、W33AHDM907B の場合）
（φ5×10）……… **2個**

(S33AHDM607B、E33AHDM607B の場合)
（φ4×10）……… **2個**

●**上幕板固定金具**
（S33AHDM757B、E33AHDM757B、W33AHDM757B
S33AHDM907B、E33AHDM907B、W33AHDM907B の場合）
……… **2個**

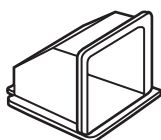
(S33AHDM607B、E33AHDM607B の場合)
……… **2個**

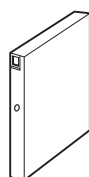
●**ラッチ**………………………………… **2個**

●**ストライク**…………………………… **2個**

●**接続コード**………………………… **1個**

別売品

〔L型ダクト〕
（左側方排気の場合）

09AH3P

〔横幕板〕
（側面上部をふさぐ場合）

E33AHPY7
S33AHPY7
W33AHPY7

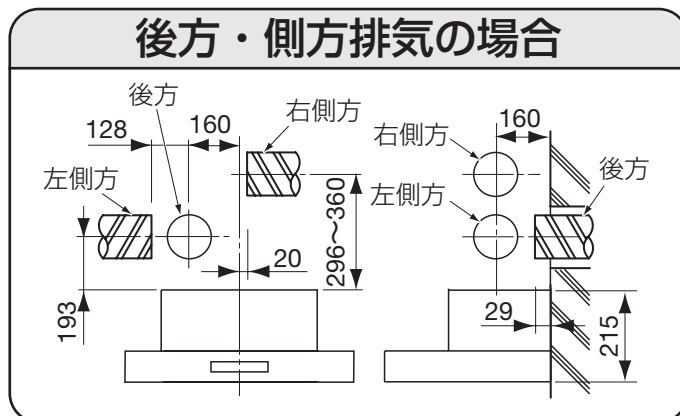
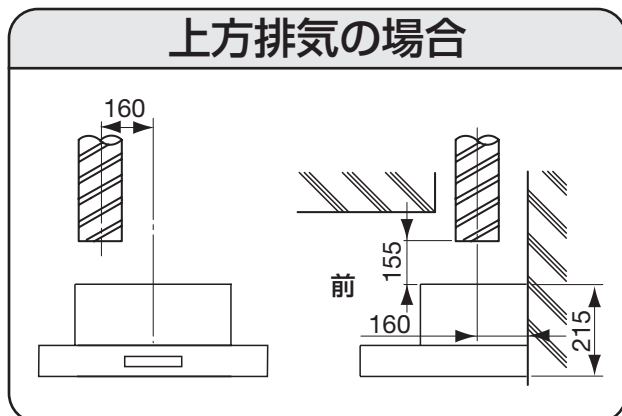
取付設置前に

・ダクト配管について

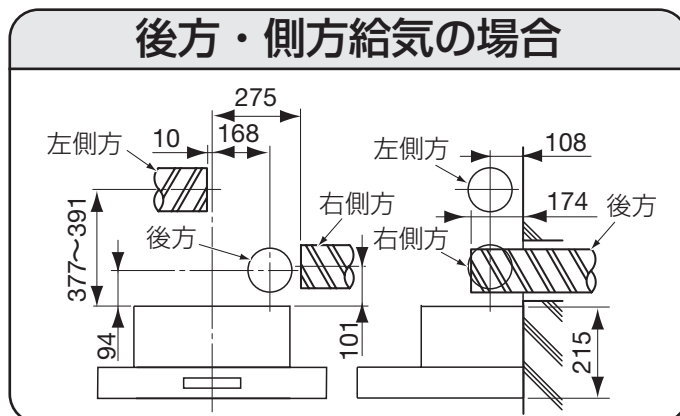
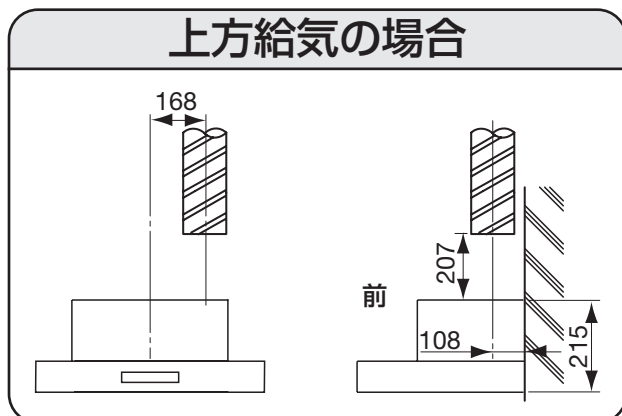
〔単位：mm〕

1. 製品外形寸法図、または下図の吐出穴位置に壁穴をあけてください。
2. 壁穴にφ150のスパイラル管をセットし、周囲を仕上げてください。
   上方排気の場合　：下図の位置にφ150のスパイラル管をセット
   後方排気の場合　：L型ダクトを組み合わせた位置にφ150のスパイラル管をセット
   右側方排気の場合：エルボ（現地手配）を組み合わせた位置にφ150のスパイラル管をセット
   左側方排気の場合：L型ダクト（別売品）を組み合わせた位置にφ150のスパイラル管をセット

上方排気の場合

後方・側方排気の場合

上方給気の場合　：L型ダクトを組み合わせた位置にφ150のスパイラル管をセット
後方給気の場合　：下図の位置にφ150のスパイラル管をセット
右側方給気の場合：L型ダクトを組み合わせた位置にφ150のスパイラル管をセット
左側方給気の場合：エルボ（現地手配）を組み合わせた位置にφ150のスパイラル管をセット

上方給気の場合

後方・側方給気の場合

お願い
1.寒冷地等で結露のおそれがある場合は、給気ダクト、排気ダクトに必ず断熱材を巻いてください。
・結露により、機器の損傷や周辺部材の損傷のおそれがあります。
・ダクトスペース上、断熱材の厚みが25mmを超えるとダクトが取り付けできません。
2.屋外端末部材は、低圧損タイプ（下記推奨品相当）をご使用ください。
・圧力損失が高い場合、給排気性能が低下したり、運転音が高くなるおそれがあります。

	推奨品番	メーカー
排気側	FY-MCA062	パナソニック エコシステムズ（株）製
給気側		

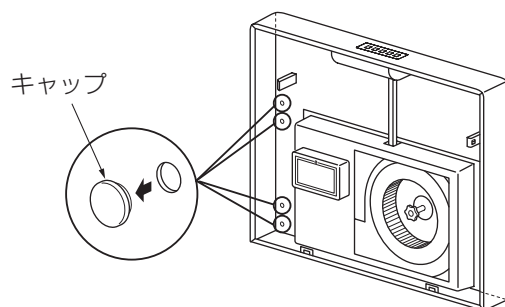
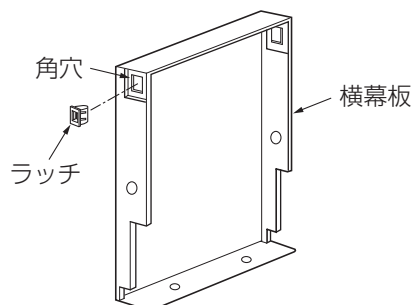
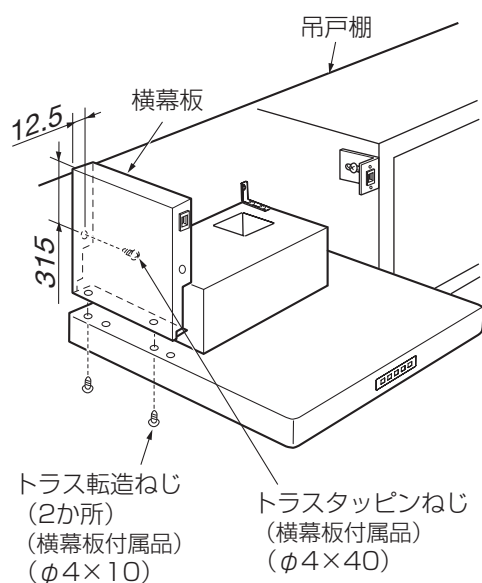
・開梱の際は

本体に取り付いている包装材（段ボール、テープ）を必ず取りはずしてください。

取付設置方法

フード本体の取り付けはフード本体の取付設置説明書をご覧ください。

1.横幕板（別売品）を取り付ける場合

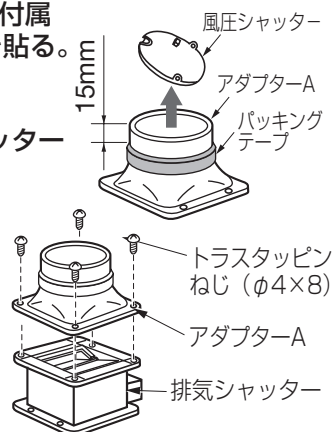
①キャップをはずす。

②横幕板の角穴にラッチを取り付ける。

③横幕板をねじで固定する。

取付設置方法（続き）

2.排気シャッターの取り付け

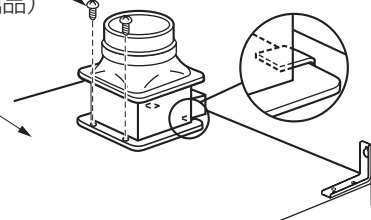
上方排気の場合

①アダプターA(フード本体付属品)にパッキングテープを貼る。

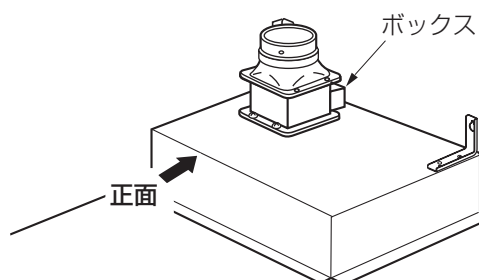
②アダプターAの風圧シャッターを取りはずす。

③排気シャッターにアダプターAをトラスタッピンねじ（φ4×8）4個で取り

④排気シャッターをフード本体天面の切起こしに差し込み、トラスタッピンねじ（φ4×8）2個で固定する。

トラスタッピンねじ
（φ4×8）
（フード本体付属品）

フード本体

お願い

●排気シャッター取り付け方向に注意する。

排気シャッターのボックスがフード本体の壁側(正面と反対側)になるよう取り付ける。

●排気シャッターのシャッターが開閉することを手動で確認する。

⑤アダプターAとダクトを接続し、アルミテープを巻く。

後方排気の場合

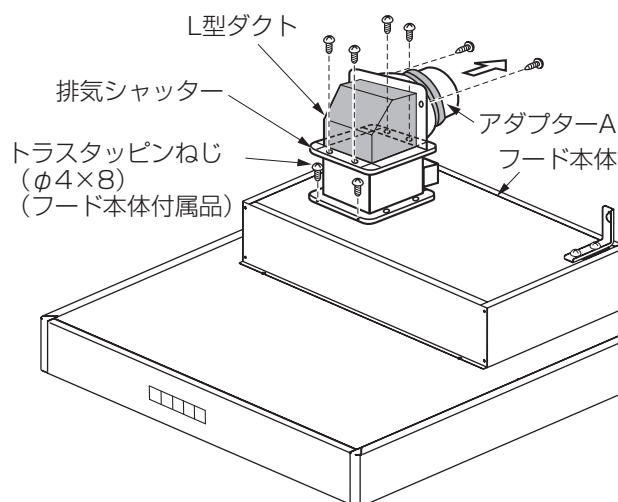
①アダプターAにパッキングテープを貼る。

②L型ダクトを排気シャッターにトラスタッピンねじ（φ4×8）4個で取り付ける。

③アダプターAをL型ダクトにトラスタッピンねじ（φ4×8）2個で取り付ける。

④排気シャッターをフード本体にトラスタッピンねじ（φ4×8）2個で取り付ける。

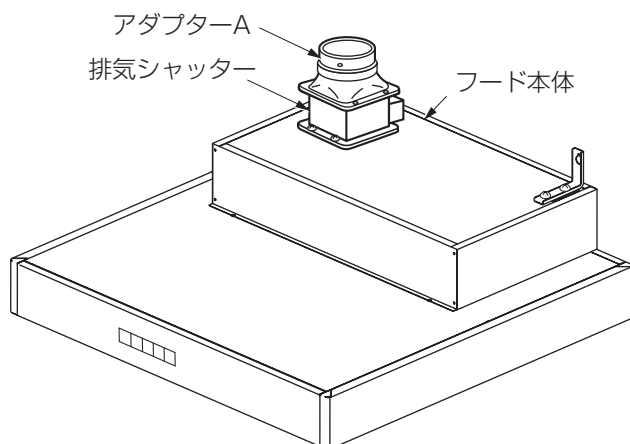
お願い

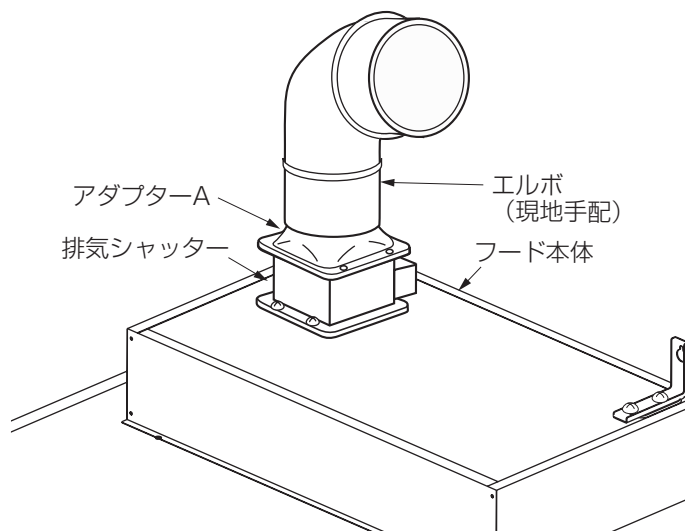
●排気シャッターの取り付け方向に注意する。

「上方排気の場合のお願い」参照

⑤アダプターAとダクトを接続し、アルミテープを巻く。

右側方排気の場合

①上方排気の場合と同様に、アダプターAと排気シャッターをフード本体に取り付ける。

「上方排気の場合」を参照

②エルボをアダプターAに右側方向に開口が向くようにダクト接続をおこなう。

お願い

●排気シャッターの取り付け方向に注意する。

「上方排気の場合のお願い」参照

左側方排気の場合

①アダプターAにパッキングテープを貼る。

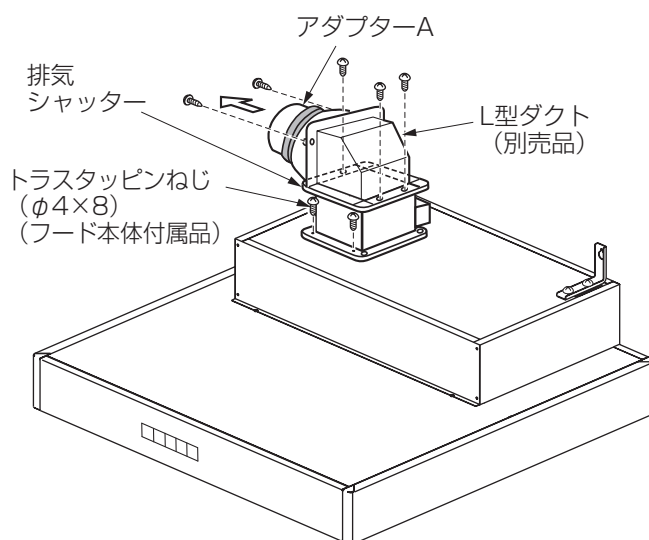
②L型ダクト（別売品）を排気シャッターに
トラスタッピンねじ（φ4×8）3個で取り付ける。

③アダプターAをL型ダクト（別売品）にトラスタッピンねじ（φ4×8）2個で取り付ける。

④排気シャッターをフード本体にトラスタッピンねじ（φ4×8）2個で取り付ける。

お願い

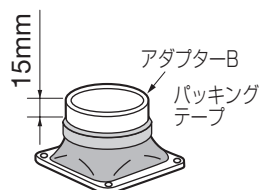
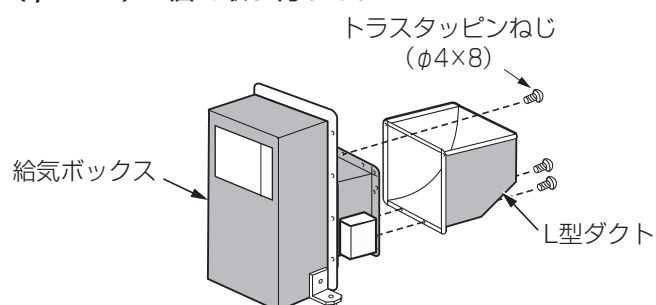
●排気シャッターの取り付け方向に注意する。

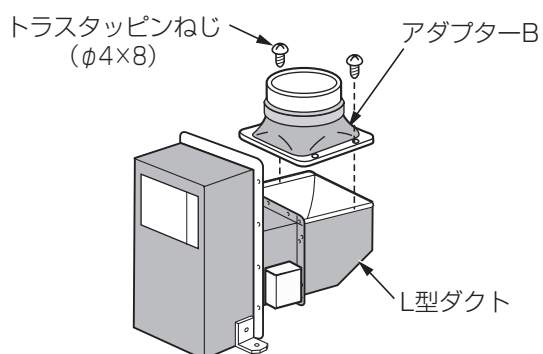
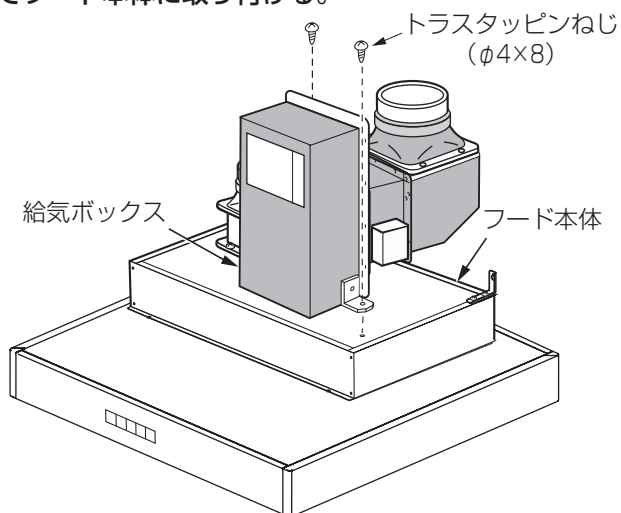
「上方排気の場合のお願い」参照

⑤アダプターAとダクトを接続し、アルミテープを巻く。

取付設置方法（続き）

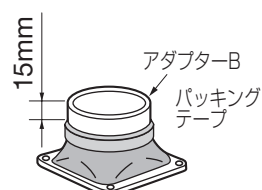
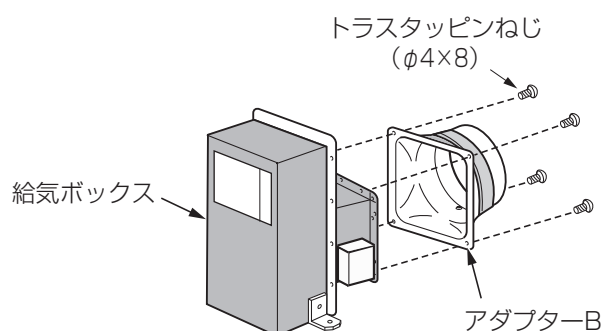
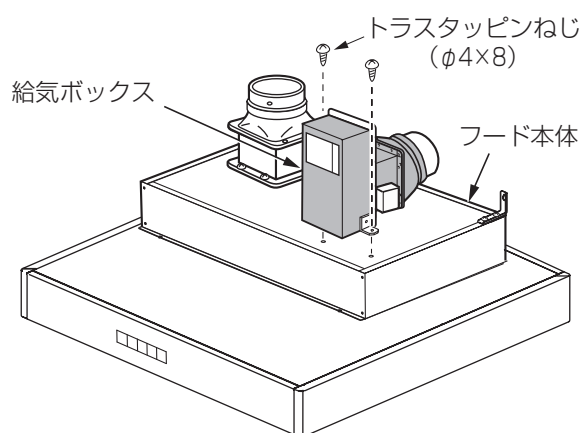
3.給気シャッター・給気ボックスの取り付け

上方給気の場合

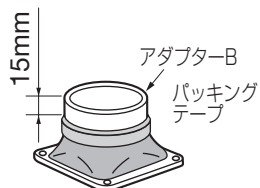
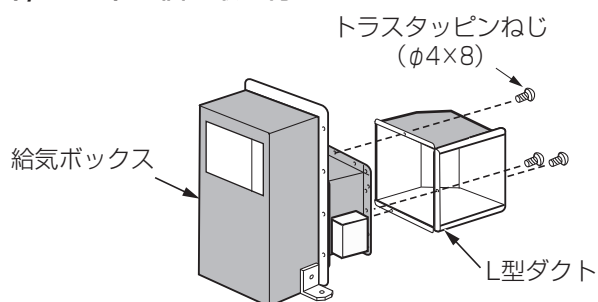
①アダプターBにパッキングテープを貼り付ける。

②給気ボックスにL型ダクトをトラスタッピンねじ（φ4×8）3個で取り付ける。

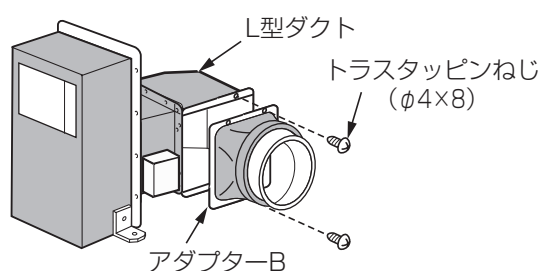
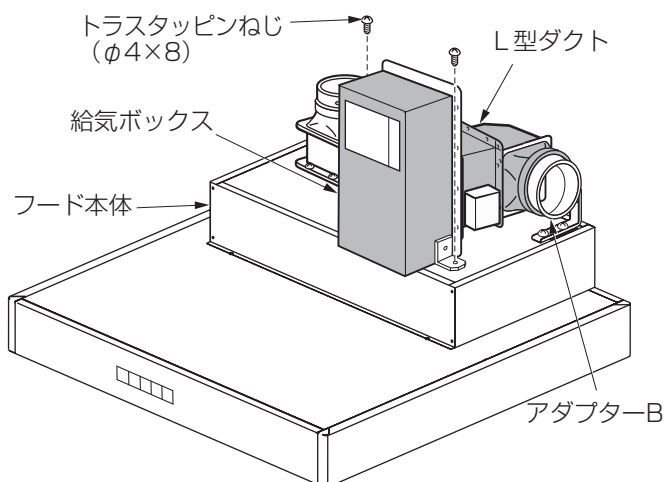
③アダプターBをトラスタッピンねじ（φ4×8）2個でL型ダクトに取り付ける。

④給気ボックスをトラスタッピンねじ（φ4×8）2個でフード本体に取り付ける。

⑤アダプターBとダクトを接続し、アルミテープを巻く。

後方給気の場合

①アダプターBにパッキングテープを貼り付ける。

②アダプターBをトラスタッピンねじ（φ4×8）4個で給気ボックスに取り付ける。

③給気ボックスをトラスタッピンねじ（φ4×8）2個でフード本体に取り付ける。

④アダプターBとダクトを接続し、アルミテープを巻く。

右側方給気の場合	左側方給気の場合

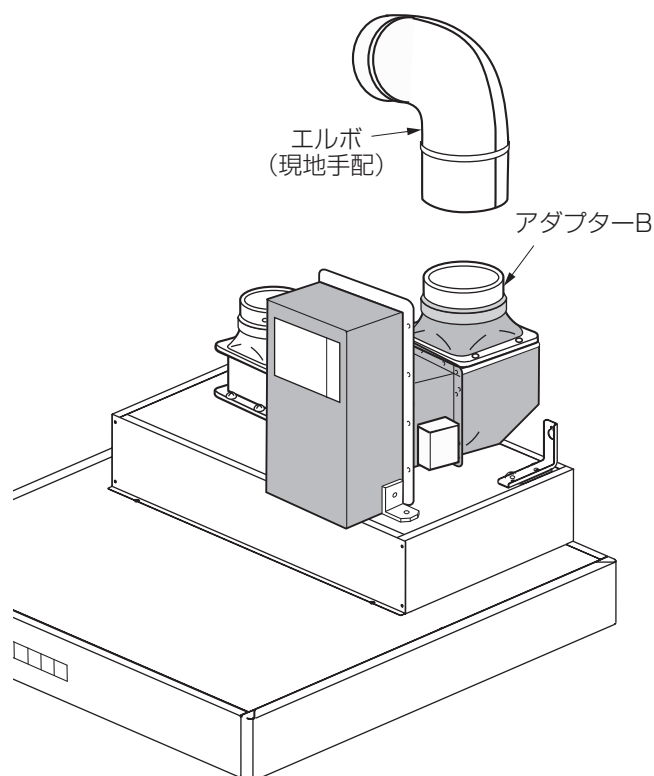
①アダプターBにパッキングテープを貼り付ける。

②給気ボックスにＬ型ダクトをトラスタッピンねじ（φ4×8）3個で取り付ける。

③アダプターBをトラスタッピンねじ（φ4×8）2個でＬ型ダクトに取り付ける。

④給気ボックスをトラスタッピンねじ（φ4×8）2個でフード本体に取り付ける。

⑤アダプターBとダクトを接続し、アルミテープを巻く。

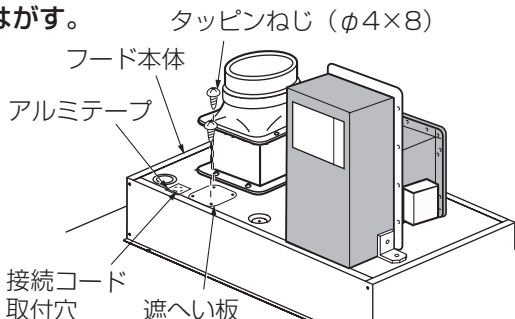
左側方給気の場合

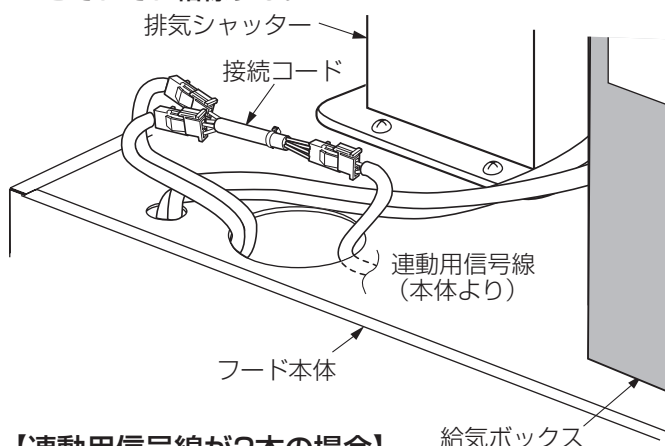
①上方給気の場合と同様に、アダプターBとL型ダクト、給気ボックスをフード本体に取り付ける。

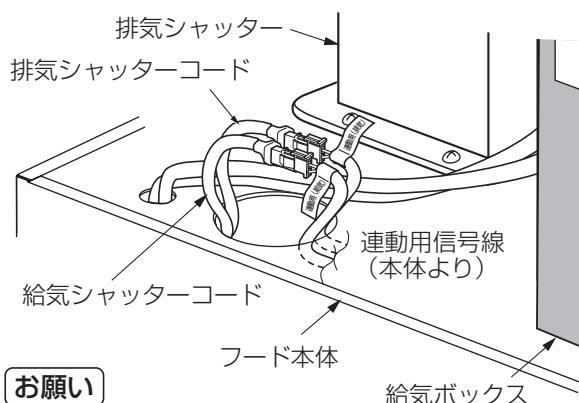
「上方給気の場合」を参照

②エルボを開口が左側方向を向くようにアダプターBに接続する。

取付設置方法（続き）

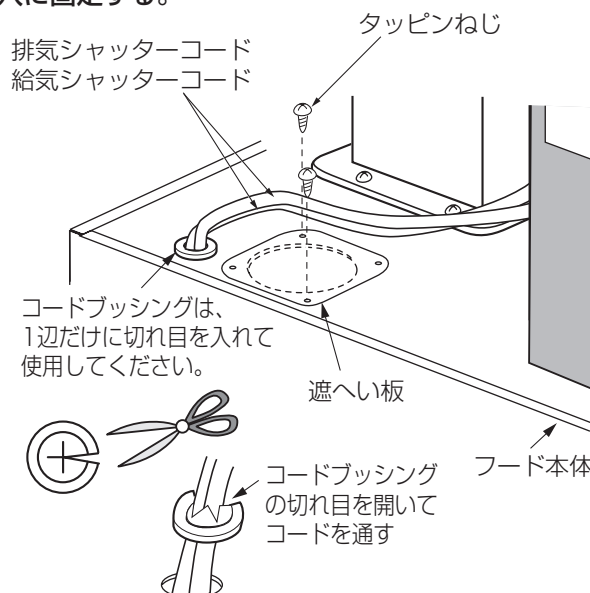
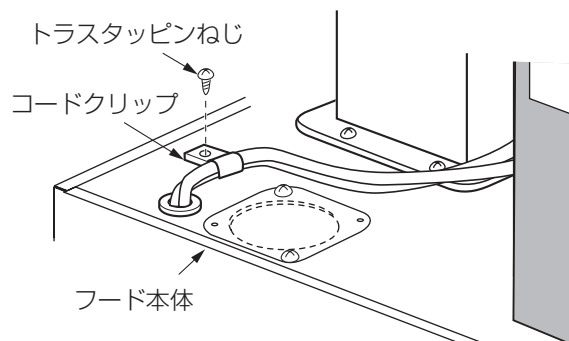
4.信号線の接続

①タッピンねじをはずし、遮へい板を取りはずす。
②フード天面の接続コード取付穴のアルミテープをはがす。

【連動用信号線が1本の場合】

③付属の接続コードを連動用信号線に取り付け、排気シャッターコードと給気シャッターコードを接続コード取付穴に外側から通し、接続コードとそれぞれ結線する。

【連動用信号線が2本の場合】

③排気シャッターコードと給気シャッターコードを接続コード取付穴に外側から通し、連動用信号線とそれぞれ結線する。
（付属の接続コードは使用しません）

お願い

●連動用信号線のラベル表示を確認し、正しく接続する。
連動用信号線
連動用（排気）←→排気シャッター用コード
連動用（給気）←→給気シャッター用コード

④接続したコードを本体内部に納め、遮へい板をタッピンねじ（2個）で固定する。
⑤排気シャッターコードと給気シャッターコードに付属のコードブッシングを通し、接続コード取付穴に固定する。

⑥排気シャッターコードと給気シャッターコードを付属のコードクリップで固定する。

●フード本体の電源プラグをコンセントに差し込み、フード本体の操作スイッチを入れ、下記のように動作するか確認してください。

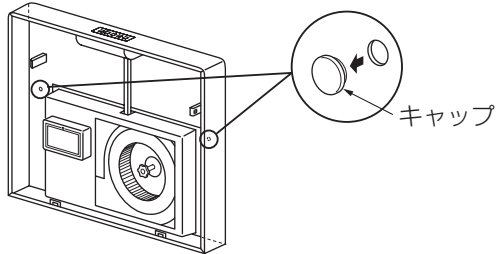
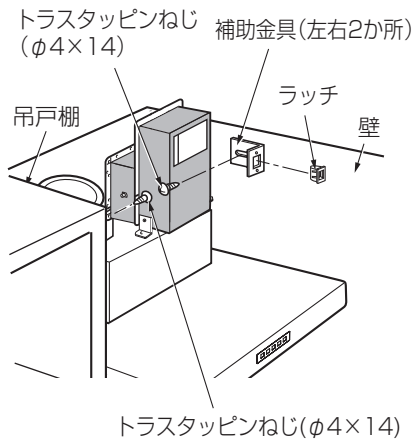
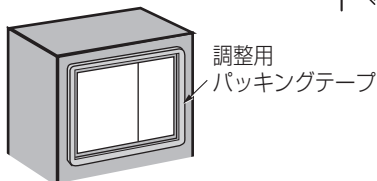
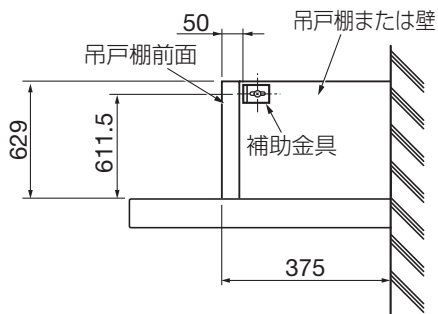
【連動用信号線が1本の場合】

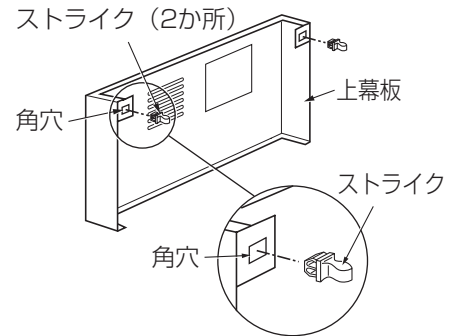
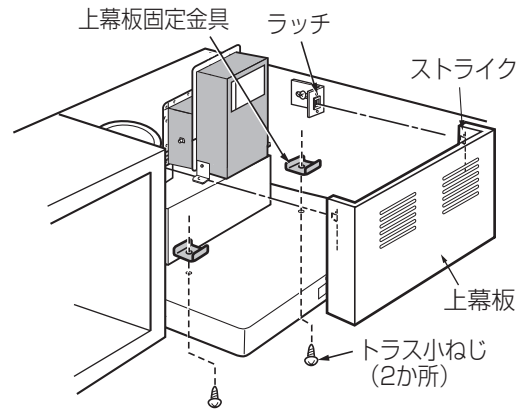
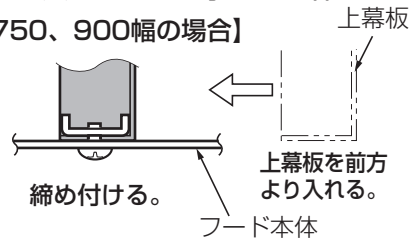
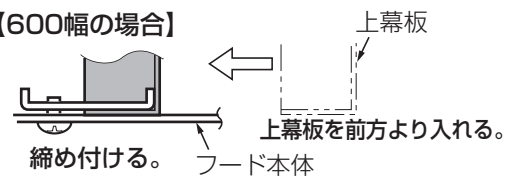
風量ボタン	排気シャッター	給気シャッター	チェック
常時	開く	開く	
弱	開く	開く	
強	開く	開く	

【連動用信号線が2本の場合】

風量ボタン	排気シャッター	給気シャッター	チェック
常時	開く	開かない	
弱	開く	開く	
強	開く	開く	

5.上幕板の取り付け

①キャップをはずす。
※別売の横幕板を取り付ける場合、キャップははずれています。
「1.横幕板（別売品）を取り付ける場合」参照

②補助金具にラッチを取り付け、左右の吊戸棚または壁にねじで固定する。
（補助金具取付面とフード本体側の側面を合わせて取り付ける。）

補助金具取付位置

※給気ボックスと幕板のすきまがあく場合、調整用パッキングテープを給気ボックスに貼り付け、すきまがあかないようにする。

③上幕板裏面の角穴にストライクを取り付ける。
（ストライクは縦向きに取り付ける。）

④フード本体内側より上幕板固定金具（2個）を仮止めし、上幕板の上部ストライクをラッチにはめる。

⑤上幕板固定金具とフード天面の間に上幕板を前方から入れ、トラス小ねじを締めつける。

※整流板をはずして作業する。

取付設置方法（続き）

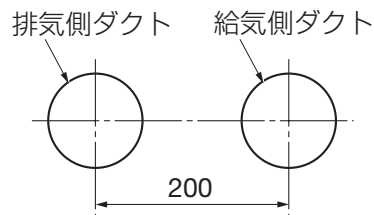
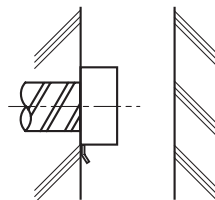
6.外壁面の取付設置

●外壁面には、パイプフードまたはベントキャップを現場にて調達し、付属の取付設置説明書に従って取り付けてください。

7.動作確認

お願い

運転終了直後に風きり音が発生することがありますが故障ではありません。
シャッターが閉まるとき空気の通路が狭くなるために起こる音ですので異常ではありません。

●外壁面の給気・排気ダクト間は、200mm以上離してください。

●給気・排気ダクトは、隣接する壁面から離してください。

仕様

電源　交流100V　50/60Hz

消費電力

	排気シャッター	給気シャッター
動作時	4.5W以下	4.5W以下
開放時	1W	1W

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

MSH763421 MD7-P0412-0